

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-100394

(P2004-100394A)

(43) 公開日 平成16年4月2日(2004.4.2)

(51) Int.Cl.⁷

E05B 1/00

F 1

E05B 1/00 311Z

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願2002-267325 (P2002-267325)

(22) 出願日

平成14年9月12日 (2002. 9. 12)

(71) 出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(74) 代理人 100093230

弁理士 西澤 利夫

(72) 発明者 吉永 哲

大阪府門真市大字門真1048番地

松下電工株式会社内

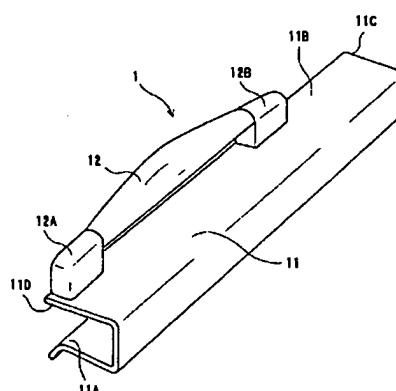
(54) 【発明の名称】 扉の取手サンプル

(57) 【要約】

【課題】扉板部に特別な支持構造の形成やビス、ネジ等による面倒な取付固定を必要とすることなしに、簡便に立設した状態であっても扉板部への着脱を可能として、取手の選定を容易にすることのできる、新しい扉の取手サンプルを提供する。

【解決手段】扉板部の端部を弾性把持する把持部(11)とこの把持部(11)に立設配置した取手握り部(12)とを備え、扉板部端部に着脱自在とされている扉の取手サンプルとする。

【選択図】 図1



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

扉板部の端部を弾性把持する把持部とこの把持部に立設配置した取手握り部とを備え、扉板部端部に着脱自在とされていることを特徴とする扉の取手サンプル。

【請求項 2】

把持部は扉板部の色調もしくは模様が透視される透明体であることを特徴とする請求項 1 の扉の取手サンプル。

【請求項 3】

把持部はその断面がコ字型であって、少くとも一方の端部は、弾性把持のための内方から外方への屈曲部を有していることを特徴とする請求項 1 または 2 の扉の取手サンプル。 10

【請求項 4】

把持部には、取手位置決めのための寸法部が設けられていることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかの扉の取手サンプル。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

この出願の発明は、扉の取手サンプルに関するものである。さらに詳しくは、この出願の発明は、キャビネット、ショーケース、各種収納庫等の扉の取手の選定を容易とし、取扱いも簡便な、新しい扉の取手サンプルに関するものである。

【0002】

20

【従来の技術】

従来、新たなキャビネットやショーケース、その他各種の収納庫等の設置やそれらの改装時において、取手を選定したり、変更する場合には、一般的に、平面状に置いた扉板部の表面に各種意匠の取手サンプルを載置するか、あるいは取手サンプルを手に持って、立設された扉板部にこれを押し当てて、実際に採用する取手を選定するようにしている。

【0003】

一方、たとえば図 4 に示したように、ショーケース等における扉（ア）の取手（イ）を各種のオプションより選択して着脱交換自在にした構造がこれまでに知られている（特許文献 1 および 2）。 30

【0004】**【特許文献】**

1：特開平 10-339059 号公報

2：特開平 10-332255 号公報

【0005】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、前記のとおりの従来の取手サンプルの場合には、立設した扉板部の場合は手を離すと取手サンプルが落下してしまい、外観性が充分に判断しづらいことや、取手を実際に握った時の感覚が得られないという問題がある。

【0006】

40

これに対して、従来公知の取手を着脱交換自在した扉の場合には、扉板部に対して取手を取付固定するための支持構造があらかじめ形成されており、この支持構造のための扉板部の複雑な加工が必要であった。この公知の支持構造を取手サンプルの場合に適用しようとすると、取手サンプルをビス、ネジ等により取付け固定しなければならず、取手サンプルを用いての目視による取手の選定は大変に面倒なものになるという問題があった。

【0007】

そこで、この出願の発明は、以上のとおりの従来の問題点を解消し、扉板部に特別な支持構造の形成やビス、ネジ等による面倒な取付固定を必要とすることなしに、簡便に立設した状態であっても扉板部への着脱を可能として、取手の選定を容易にすることのできる、新しい扉の取手サンプルを提供することを課題としている。

【0008】

50

【課題を解決するための手段】

この出願の発明は、上記の課題を解決するものとして、第1には、扉板部の端部を弹性把持する把持部とこの把持部に立設配置した取手握り部とを備え、扉板部端部に着脱自在とされていることを特徴とする扉の取手サンプルを提供する。

【0009】

また、この出願の発明は、第2には、前記の把持部は扉板部の色調もしくは模様が透視される透明体であることを特徴とする扉の取手サンプルを提供し、第3には、把持部はその断面がコ字型であって、少くとも一方の端部は、弹性把持のための内方から外方への屈曲部を有していることを特徴とする扉の取手サンプルを、第4には、把持部には、取手位置決めのための寸法部が設けられていることを特徴とする扉の取手サンプルを提供する。 10

【0010】**【発明の実施の形態】**

この出願の発明は上記のとおりの特徴をもつものであるが、以下にその実施の形態について説明する。

【0011】

添付した図1は、この出願の発明の取手サンプルについて基本的な概要を説明した斜視図であり、図2はその断面図である。たとえばこの図1および図2に例示した発明の実施の形態においては、取手サンプル(1)は、扉板部の端部を弹性把持する把持部(11)と、これに立設配置している取手握り部(12)とを有し、把持部(11)において、取手サンプル(1)は、扉板部に着脱自在とされ、扉板部が立設されている場合でも、取手サンプル(1)が落下しないようにされている。 20

【0012】

このような構成によって、取手サンプル(1)は、扉板部の端部に嵌め込むだけで取付けができる、目視による外観判断とともに、取手握り部(12)を実際に手に握って、感覚を確認することができる。このため、扉の取手の選定が目視と実感に基づいてより的確で好みなものとなる。

【0013】

この把持部(11)での弹性把持のために、図1および図2の例では、把持部(11)の断面はコ字型(もしくは略コ字型)であって、一方の端部には、内方から外方への屈曲部(11A)を有している。この屈曲部(11A)は、たとえば図3に例示したように、扉板部(2)の端部が押し込まれていることによって図中の矢印方向、すなわち外方に向つて拡大され、これにともなう逆方向の弾发力により扉板部(2)の端部を把持部(11)がしっかりと把持することになる。 30

【0014】

もちろん、把持部(11)における弹性把持は、以上の例のような屈曲部(11A)の弾发力を利用する形態だけでなく、様々であってよい。たとえば把持部(11)の断面コ字型の溝内に板バネ、皿バネ等のバネ体を装着しておいてもよいし、ゴム体やスポンジ体の弹性を利用するようにしてもよい。

【0015】

また、屈曲部(11A)は、図1および図2のように一方の端部に設けるだけでなく、上下の両方の端部に設けてもよい。 40

【0016】

そして、以上のような弹性把持を可能とするこの出願の発明の取手サンプル(1)においては、把持部(11)は、樹脂、金属等の各種の素材によって構成してよいが、なかでも透明性の樹脂、たとえばアクリル樹脂等を用いることによって、扉板部(2)の色調や模様が透視可能とされることが好み。

【0017】

これによって、実際に取手を取付けた場合の外観性が扉板部全体の観点より容易に把握することができる。

【0018】

また、この出願の発明の扉の取手サンプルにおいては、把持部(11)には、取手取付位置決めのための寸法部が設けられてもよい。たとえば、図1に例示されているように、把持部(11)には所定の寸法の長さの延長部(11B)を設け、これを前記の寸法部とすることができるし、この延長部(11B)に寸法目盛を配設しておいて、これを寸法部とすることもできる。これによって、たとえば延長部(11B)の端部(11C)を扉板部(2)の上端位置に合わせることで、所定寸法位置に取手を取付固定した場合の外観性、位置バランス観を的確に、かつ容易に把握することができる。寸法目盛がある場合にも同様である。

【0019】

もちろん、延長部(11B)ではなく、取手握り部(12)端部とほとんど差のない逆の端部(11D)をもって位置決めしてもよい。 10

【0020】

さらにこの出願の発明においては、図1の例のように、取手握り部(12)の両端部(12A)(12B)が同じ板状体の把持部(11)に固定されていなくてもよい。把持部(11)は分離されて、取手握り部(12)の両端部(12A)(12B)は、別々の把持部(11)に立設配置されていてもよい。もちろん取手握り部(12)それ自身についても、図1の例に限られることはなく、その意匠をはじめ、取付けも一箇所で把持部(11)に固定される等の構造であってもよい。

【0021】

この出願の発明は、以上の例示に限られることなく、その細部の形態においてさらに様々 20
であってよいことは言うまでもない。

【0022】

【発明の効果】

以上詳しく述べたとおり、この出願の発明によって、従来の問題点を解消し、扉板部に特別な支持構造の形成やビス、ネジ等による面倒な取付固定を必要とすることなしに、簡便に立設した状態であっても扉板部への着脱を可能として、取手の選定を容易にすることのできる、新しい扉の取手サンプルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この出願の発明の一実施形態を例示した斜視図である。

【図2】図1の例の断面図である。 30

【図3】弾性把持について示した断面図である。

【図4】従来例について示した斜視図である。

【符号の説明】

1 取手サンプル

11 把持部

11A 屈曲部

11B 延長部

11C 端部

11D 端部

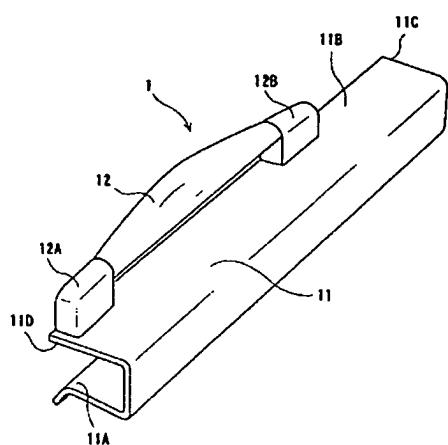
12 取手握り部

12A、12B 端部

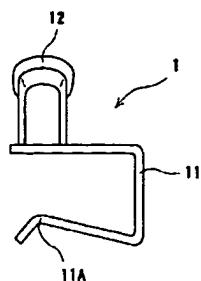
2 扉板部

40

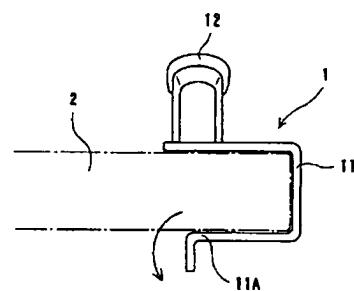
【図 1】



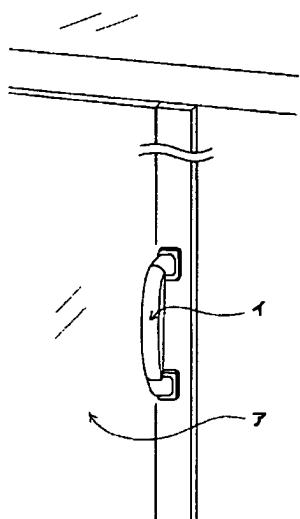
【図 2】



【図 3】



【図 4】



DERWENT-ACC-NO: 2004-276279

DERWENT-WEEK: 200426

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Handle sample for door, has handle grip member
installed
at holding member which is set detachable at edge
portion
of door-plate member

PATENT-ASSIGNEE: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD[MATW]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0267325 (September 12, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC			
JP 2004100394 A	April 2, 2004	N/A	005
E05B 001/00			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2004100394A	N/A	2002JP-0267325
September 12, 2002		

INT-CL (IPC): E05B001/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2004100394A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A handle grip member (12) is installed at a holding member (11) which is set detachable to the edge of a door-plate member.

USE - For door.

ADVANTAGE - Enables attachment/detachment to a door-plate member without requiring the attachment fixing of a support structure special to the door-plate member. Simplifies the specification of a knob.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective diagram of the handle sample.

Handle sample 1

Holding member 11

Bending portion 11A

Edge portion 11C

Handle grip member 12

Edge portion 12A,12B

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

**TITLE-TERMS: HANDLE SAMPLE DOOR HANDLE GRIP MEMBER
INSTALLATION HOLD MEMBER SET
DETACH EDGE PORTION DOOR PLATE MEMBER**

DERWENT-CLASS: Q47

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2004-218880

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.